

北海道新型コロナウイルス感染症対策本部 第24回本部会議 記録

日 時／令和2年10月28日（水）

10：00～10：15

場 所／本庁舎3階 テレビ会議室

【副本部長（中野副知事）】

それでは、ただいまから、北海道新型コロナウイルス感染症対策本部の第24回本部会議を開催いたします。まずはじめに、最近の状況についてでありますけれども、これまで毎回、国や道の動きなどご報告をさせていただいておりますけれども、今回からはお手元に資料としてまとめたものを配付させていただいておりますので、それをもって代えさせていただきます。資料につきましては後ほどご確認をお願いいたします。それでは、本日の議事に入りますけれども、「警戒ステージ2」への移行等につきまして、まず総合政策部長から説明をお願いいたします。

【倉本総合政策部長】

それではまず、お手元の資料1をご覧くださいと思います。「警戒ステージ2」への移行について」をご覧ください。まずスライド1でございますが、10月26日及び27日の警戒ステージの指標を掲載しておりますが、感染動向を総合的に勘案し、ステージ2への移行について、本日の対策本部でご決定いただければと思っております。ステージ2の基本認識でありますけれども、ステージ2は、感染が徐々に広がり始める状況でありまして、社会経済活動への影響を最小限に抑えながら、この段階で感染防止対策を徹底し、感染拡大を早期に抑え込み、社会経済活動との両立を進めるための重要なステージになると考えております。また、施策の考え方ではありますが、人と人との接触による感染の伝播を考慮いたしまして、全道域で危機感や感染防止意識を共有しつつ、道民等に対して特措法に基づく協力要請を行うとともに、普及啓発等の感染拡大防止対策の更なる強化を実施するものであります。

次に、その判断の根拠となった感染動向につきまして、スライド2をご覧くださいと思います。本道におきましては、シルバーウィーク以降、連日2桁の新規感染者が発生いたしまして、10月24日には過去最多となる60名の感染者が確認されますとともに、入院患者も9月27日の77人から、一ヶ月で倍増いたしまして、10月26日には150人に達しております。年代別割合では、30代以下が約7割を占めまして、若い世代を中心に感染が拡大しておりますが、そうした中でも40代以上の実数もまた拡大しております、世代間の広がりも見られるところであります。

地域の感染状況は、石狩振興局管内の感染者数が約7割と多数を占めているものの、空知、胆振、日高、釧路振興局管内で集団感染が発生するとともに、全道各地でリンクなしの新規感染が確認されており、全道域での感染の広がりが見られております。感染者の行動履歴をみますと、旅行など道外との往来、会食や会合などへの参加、職場内

や家庭内での接触など、幅広い場面での感染リスクが高くなる行動事例が見られ、また、接待を伴う飲食店等、学校、職場、福祉施設など、多様な場での集団感染が確認をされております。

昨日10月27日ですが、ステージ2への移行の7つの指標のうち、5つの指標で基準を超えたところであります。こうした感染動向等を総合的に勘案し、ステージ2への移行が必要ではないかと考えております。スライド3以降は、今ご説明いたしました内容について、数値やデータを掲載しておりますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

次に、資料2「警戒ステージ2」における感染拡大防止に向けた施策についてをご覧いただきたいと思っております。感染拡大を抑え込むため、集中的に施策を実施したいと考えております。具体的には、本日、令和2年10月28日（水）から11月10日（火）までの2週間を集中対策期間として、特措法に基づく、道民の皆さまへの協力要請を行うとともに、感染拡大防止対策を更に強化することとしたいと考えております。

まず、特措法第24条第9項に基づく協力要請の内容といたしましては、発熱や咳があるなど体調が悪い場合に外出を控えていただきたいこと、また、飲酒を伴う場面などにおける感染リスクを回避する行動の実践、特に札幌市内では徹底いただきたいこと、マスクの着用など高齢者、基礎疾患を有する方等と接する場合の慎重な行動を実践すること、テレワークや時差出勤などを更に推進すること、国の接触確認アプリや道のコロナ通知システムを更に活用することについて、ご協力をお願いするものであります。

また、道として、更に強化する感染拡大防止対策といたしましては、一般相談窓口の体制強化、発熱患者に対する診療体制等の整備、積極的なPCR検査等の実施、集団感染が発生した際の即応体制の更なる整備や、「北海道感染症広域支援チーム」の迅速な編成・派遣といった「感染者の増加を見越した相談診療検査体制の更なる整備」を図るほか、「普及啓発用資料」の活用、出前講座の実施、札幌市内の多くの人が利用する場所での集中的な広報、繁華街でのマスク着用などの個別啓発、新北海道スタイルの実践やテレワークの推進など、企業に対する働きかけといった「普及啓発等の強化」を行ってまいりたいと考えております。なお、2ページでございますが、参考といたしまして、「体調が悪い場合の例」、また、飲食を伴う場面など感染リスクが高い場面や、高齢者等と接する場合で取るべき「感染リスクを回避する行動とはどういったものかという例」を記載させていただいております。

続いて、資料3でございます。このたびのステージの移行及び施策につきましては、専門家及び有識者のご意見をお伺いするとともに、市町村や関係団体にも事前にお知らせをいたしております。主な意見を資料3にまとめております。専門家及び有識者からは、ステージの移行及び施策の内容について、妥当であるとのご意見が多数ございました。また、札幌対策の強化や札幌市との連携強化を求めるとのご意見もございまして、こうしたご意見を踏まえながら、特に札幌市内においては、札幌市と連携を図りながら、普及啓発活動などを集中的に実施することとしたいと考えております。私からは以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

ただいま総合政策部長から説明がございましたが、説明がありましたとおり「警戒ステージ2」への移行、それから「警戒ステージ2」における感染拡大防止に向けた施策の実施について、当本部として決定することとしたいと考えておりますが、いかがでございませうでしょうか。よろしいですか。それでは、ただいま説明がありましたとおり、当本部として決定することといたします。

次に関係の部からご発言をお願いいたします。まず、総務部長からお願いをいたします。

【平野総務部長】

資料4をご覧ください。総務部からは、資料4のとおり、本部会議終了後、職員向けの通知を発出をいたします。これまでも数度にわたりまして、道職員が実践する感染拡大防止に向けた取組の徹底について通知をしておりますが、この度、警戒ステージ2に移行し、集中対策期間が設定されたことから、感染拡大を早期に抑え込むため、職員の皆様に改めて集中的な取組をお願いするものでございます。具体的には、各所属において集中対策期間中、特に在宅勤務や分散出勤などの取組を集中的に積極的に進めてください。また、公私の場面の別なく、マスクの着用はもとより、人と人のソーシャルディスタンスの確保や、職場におけるビニールの仕切りの設置など感染拡大防止対策について、再確認と徹底をお願いするとともに、発熱など体調不良がみられる職員に対しましては、所属において出勤させないなど、症状に応じた適切な対応の指導を行ってください。

このほか飲酒を伴う場面の感染リスクの回避など、先ほどの資料2にございます対策について、道職員が率先して取り組むよう、よろしくをお願いをいたします。加えまして、庁舎や出先機関、道立施設において、利用者の方々に対しまして、感染防止対策に緩みがないかの再確認、そして、集中対策期間中であることを示す掲示についても、よろしくをお願いをいたします。説明は以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

続きまして教育長からお願いをいたします。

【小玉教育長】

はい。若い世代を中心に感染が拡大している中、児童生徒等の感染が、複数の振興局等において確認されております。そのほとんどは、同居家族の陽性判明後に、直ちに同居の生徒の検査を行いましたので、校内での他の生徒等への感染を防いできたところではありますが、過日、道立学校におきまして生徒等の集団感染も発生しましたことから、先週、各学校等に対し、改めて注意喚起を行ったところでもあります。

今後におきましては、ただいまの道の警戒ステージ2への移行決定を受けまして、直ちに教育庁の対策本部会議を開催をし、学校における国の衛生管理マニュアルを踏まえた行動基準の強化、具体的にはマスク着用の徹底はもとよりでございますが、同居家族を含めた健康観察の強化、それから生徒自身の3密が心配される場所を避けることなどにつきまして決定をし、各学校に通知してまいります。以上でございます。

【副本部長（中野副知事）】

その他、各部などからご発言ありますでしょうか。よろしいですか。そうしましたらここで本部長からお願いをいたします。

【本部長（知事）】

まず、道内におきまして、10月24日に新型コロナウイルスに感染をされました1名の方が、お亡くなりになりました。お亡くなりになられた方に、哀悼の意を表しますとともに、ご遺族の方々に、心からお悔やみを申し上げます。

新規感染者数の増加が続き、世代間や地域での感染の広がりが見られる中、入院患者数も増えていることなどを総合的に判断をし、ただ今、「ステージ2」へ移行することを決定いたしました。「ステージ2」は感染拡大を早期に抑え込み、社会経済活動との両立を進めるための重要なステージであります。これ以上、感染が拡大をしていった場合、道民の皆様に対する不要不急の外出自粛など、さらに強い措置もお願いせざるを得なくなります。この段階で感染拡大を抑え込んでいく、このことが極めて重要であります。そのためには、危機感、そして感染防止意識を共有しながら、道民の皆様お一人おひとりが基本的な感染防止対策を改めて徹底をいただくこと、このことに加えまして、道としても、感染者の増加を見越した相談や検査等の更なる体制強化を図ることが必要であります。こうした対策について、先手先手で集中的、効果的に実施していかなければなりません。

さらに、人の移動が活発化している、こういう状況も踏まえまして、来道された方に対して感染防止対策を守っていただくこと、このことも重要であります。早期に感染拡大を抑え込んでいくためには、市町村や関係団体等の協力をいただきながら取組を進めていくことが重要であります。道庁が有するあらゆるネットワークを活用するとともに、あらゆる機会を通じて、普及啓発等の取組を徹底していただくように指示いたします。特に感染が全道域に拡大しつつあるという状況を踏まえ、各地方本部において、これまでの地域における連携、これを一層強化をし、地域の実情を踏まえた効果的な取組が進められるよう、早急に取組を進めていただくように指示いたします。

この集中対策期間でしっかりと押さえ込んでいく、このことをみんなで今一度しっかりと確認をしながら、道民の皆様にもご理解、ご協力をいただいて、取組を徹底していきたい、そのように思いますので、皆さんよろしく願いいたします。

【副本部長（中野副知事）】

ただいま本部長から指示のありました内容につきましては、各本部員、必要な対応を速やかに取っていただくようお願いをいたします。

それでは以上をもちまして新型コロナウイルス感染症対策本部の第24回本部会議を終了いたします。

(了)